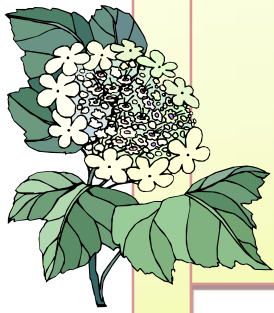


福寿園 monthly

平成 24年 7月 3日 (火) 発行 第 021号



チャリティスナック

5月23日、恒例になりましたスナックが開催されました。今回のテーマは「チャリティスナック～視覚障害者にあたたかい心の輪を」ということで、主に視覚障害を抱えた未来ある子供たちのために、みなさんに募金を呼び掛けると共に、売り上げの一部を福寿園視覚障害者チャリティ基金へと寄付させて頂きました。協力いただいたみなさんには、職員手作りの「ピンクリボン」をプレゼントし、会場のあちらこちらでは胸のリボンがキラキラ輝きました。あたたかい心は会場いっぱい広がり、みなさんの歌声やおしゃべり、そして素敵な笑顔とともに、優しい気持ちに包まれた楽しい楽しい夜のひとときとなりました。



加茂菖蒲園へリフレッシュ

6月11日、豊橋市にある加茂菖蒲園の花菖蒲まつりへ出掛けてきました。見頃を迎えた色とりどりの花菖蒲が一面に咲き誇り、手で触れたり、匂いをかいだり、入所者のみなさんは大変喜ばれました。他にも蓮の花や紫陽花など、季節の花も一緒に楽しむことが出来、自然を肌で感じるよいリフレッシュになったようです。



帰りには福寿園の姉妹施設、同じ豊橋市にある「昭和の里」へ立ち寄り、れすとらん「夕やけ」で自然食材いっぱいのとってもヘルシーなランチを美味しくいただき、充実した楽しい1日を過ごされました。



【養護盲老人ホーム福寿園☆あんなこと、こんなこと】 ④

～ 買い物デー」について～

福寿園では毎月3回、「買い物デー」という日を設けています。入所者より希望者を募り、近くのショッピングセンターへ出掛けます。現地では事前に依頼してあるボランティアの皆さんが1対1で付き添い、買い物介助をさせていただきます。日用品から、衣類、お菓子など好きなものを自由に購入するのを楽しみにされ、毎月ニコニコ笑顔で出掛けて行き、いつも両手いっぱい袋を抱えて帰園されます。

また、ご自身で買い物に出掛けるのが困難な方には月1回「注文買物」という日を設けて、職員が買物を代行するサービスも行っています。



QC活動「地震発生時に自分の身の安全を確保しよう」 ②

少し前のものですが、平成18年の田原市の資料によると東海地震と東南海地震が連動して起きた場合ここ福寿園のある六連地区には震度6強という強い揺れが想定されているそうです。最近テレビや新聞等で盛んに報じられている3連動また九州は宮崎の日向沖まで含む5連動といわれる地震が襲った場合その被害はおそらく計り知れないものになるでしょう。

東日本大震災の報道はこれまで数多くの震災を見聞きあるいは体験している入所者の皆さんにも大きな衝撃となったようで、多くの方が今後確実にくる大地震への不安を口にされました。震災以降災害に対する意識が変わったか入所者にアンケートを実施したところ、地震を現実起こり得るものとして以前より意識するようになったと答える方は多かったものの、具体的な備えについて答えることができた方は少なく、現実起こった場合どう対処するか差し迫った問題とまでは考えておられない方が大半を占めました。そこでまず実際に大地震が起こったことを想定した避難訓練を行うことで入所者の現状を把握することにしました。

今回訓練を行うに当たっては文部科学省の専門部会が2010年に発表した「逃避行動の指針」等を基に避難行動に一定の基準を設けました。

- 地震発生直後：とつさに自分の頭を守ることができたか
- 地震発生から避難指示まで：余震に注意を怠らず、避難に備えて必要な備えを準備したか
- 避難指示以降：職員の指示に従って避難することができたか 外に出なかったか

今回の訓練は要介護認定を受けている方と認知症の進行により防災への理解が困難と思われる方を除いて対象者は49名としました。そのうちの80%は何らかの視覚障害をお持ちの方です。

この基準を基に避難訓練を行ったところ思わぬ結果になりました。次号はその結果からお伝えしていきます。

生活相談員より



ショートステイの受け入れも随時行っております。

現在欠員が2名あります。入所相談等ありましたら、ぜひご連絡下さい。よろしくお願ひします。

平成24年7月3日(火)現在

定員 80名 現在入所者 78名

ショートステイ 定員4名 現在入所 1名

担当者/主任生活相談員 山森達也 主任支援員 山田竜太

〒441-3413

愛知県田原市六連町神/釜9-3

TEL 0531-27-0008

FAX 0531-27-0828

URL <http://www.fukujuen.or.jp>

E-mail honbu@fukujuen.or.jp

ブログも随時更新中!!是非ご覧下さい

